

学校教育目標	【知】自ら課題を発見し、考えを深めながらよりよく解決していく子を育てます。 [問題解決力、関心・意欲・態度]	
	【徳】自分も身近な人も大切に、思いやりのある優しい心をもつ子を育てます。 [人権尊重、あいさつ、思いやり]	
	【体】体を鍛え、自他の生命や体を大切にすることを育てます。 [生命尊重、自己の体力づくり]	
	【公】自分と身近な人・もの・ことにかかわり、集団の一員として役に立とうとする子を育てます。 [社会参画、他者への貢献、自尊感情]	
【開】自分から様々な人とふれ合い、共に生きていこうとする子を育てます。 [コミュニケーション、共生、他者理解]		

学校概要	創立 46 周年	学校長 山本 純	副校長 池田 孝	2 学期制	一般学級： 18 個別支援学級： 4
児童生徒数： 569 人		主な関係校： 谷本中学校、谷本小学校、つつじが丘小学校、藤が丘小学校、さつきが丘小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	谷本中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
①【問題発見・解決能力】 ②【コミュニケーション能力】	谷本中学校 谷本小学校 つつじが丘小学校 藤が丘小学校 さつきが丘小学校	笑顔であいさつ～自分を認め 相手を認め～ 【言語活用能力】 【認め合う力】 の育成に向けて、次の取組を進める。 ブロック小・中学校の朝会等で「笑顔であいさつ」の児童生徒への周知、小中合同授業研究会（谷本中学校、さつきが丘中学校）、谷本中職場体験の受け入れ、児童生徒交流日、中学校教諭による小学校での授業、部活動体験、中学校吹奏楽部の演奏鑑賞等。

中期取組目標	◎学校教育目標「ひびき合い ともに よりよく生きる」の具現化
	(1) 日々の授業を通して、子どもたちの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていこうとする子どもたちを育てます。 (2) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合える温かい学校風土をつくります。 (3) 自身の健康に関心をもち、進んで運動したり、毎日の食事や睡眠を大切にしたりする力を育てます (4) 学校運営協議会を基盤に、保護者・地域と連携しながら、信頼関係に基づいた開かれた学校づくりを進めます。 (5) 組織的な指導体制のもと、全職員が共通理解をもって児童の指導に当たります。

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>確かな学力</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>評価委員会</td> </tr> </table>	知	確かな学力	担当	評価委員会	①「問題解決的な学習」を研究・推進し、子どもたちの問題発見能力や、学習計画力、解決方法の選択力・決定力を育てる。 ②「GIGAスクール構想」を推進し、ICTを活用した協動的な授業づくりを進め、成果を全体で共有する。
知	確かな学力				
担当	評価委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権・子ども支援委員会</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	人権・子ども支援委員会	①ペア学年、児童会、学級活動等を通し、「互いのよさを認め合える仲間づくり」を支援し、協働しようとする態度を育てる。 ②道徳科と各教科領域の関連を強め、子ども一人ひとりが「自分ごと」と感じ、価値の自覚がもてる道徳科の実践を行う。
徳	豊かな心				
担当	人権・子ども支援委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>健康安全委員会</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	健康安全委員会	①「ロング昼休み」を活用し、校庭や体育館で遊ぶ時間を確保することで、子どもの運動習慣の増進を図る。 ②給食指導をきっかけに、6年間の系統的な食育指導を行い、健康と食事の関係についての関心を育てる。
体	健やかな体				
担当	健康安全委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>学校運営協議会</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>地域連携委員会</td> </tr> </table>	公開	学校運営協議会	担当	地域連携委員会	①年3回の「学校運営協議会」を中心に、学校運営について地域・関係の方々との意見を交換し、学校運営を進める。 ②運営協議会のはたらきについて文書やHPで発信し、保護者・地域が協議会組織のよさについて知ることができるようにする。
公開	学校運営協議会				
担当	地域連携委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	①「藤が丘小学校いじめ防止基本方針」の共通理解を確実にし、事案発生時に迅速かつ組織的に取り組む。 ②「子ども支援委員会」を中心に、認知された案件の経過観察や、配慮が必要な児童の情報共有を細やかに行う。 ③児童アンケートと面談を全校で行い、子どもの僅かな変化についても見逃さない体制をつくる。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>主幹会</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	主幹会	①若手教員で「メンターチーム」を組織し、年間を通して教育技術の研鑽を積むことができるようにする。 ②組織的なコミュニケーションを大切にし、教職員が考えを伝え合いながら主体的に働ける職場づくりを進める。 ③多様な会議項目について、データ化・リンク化できるようにし、効率的な働き方を目指す。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	主幹会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>個別支援教育委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	個別支援教育委員会	①配慮が必要な児童一人ひとりの教育的「ズ」を把握し、適切な支援を行うための情報共有ができる場と、支援ができる環境を整える。 ②「ことばの教室」におけるセパの機能を活用する。 ③「藤が丘小共通指導ガイドライン」を基に、全職員が共通理解をもって児童の指導に当たることができるようにする。
特別支援教育					
担当	個別支援教育委員会				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					